



# 平成29年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ホクリヨウ

コード番号 1384 URL <http://www.hokuryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米山 大介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画部長 (氏名) 進藤 正紀

TEL 011-812-1131

定時株主総会開催予定日 平成29年11月28日 配当支払開始予定日 平成29年11月29日

有価証券報告書提出予定日 平成29年11月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年8月期の連結業績(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期	15,982	1.9	1,519	1.5	1,691	8.9	1,420	45.0
28年8月期	15,682	0.6	1,496	44.5	1,552	45.5	979	46.7

(注) 包括利益 29年8月期 1,465百万円 (54.7%) 28年8月期 947百万円 (32.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年8月期	167.92		18.5	12.5	9.5
28年8月期	128.21		15.9	12.8	9.5

(参考) 持分法投資損益 29年8月期 百万円 28年8月期 百万円

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年8月期	14,042	8,333	59.3	985.15
28年8月期	13,019	6,986	53.7	825.91

(参考) 自己資本 29年8月期 8,333百万円 28年8月期 6,986百万円

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年8月期	2,197	2,346	48	2,752
28年8月期	1,956	1,736	520	2,949

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年8月期		0.00		14.00	14.00	118	10.9	1.8
29年8月期		0.00		15.00	15.00	126	8.9	1.7
30年3月期(予想)		0.00		15.00	15.00		22.2	

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,114		832		866		571		67.57

(注) 当社は、平成29年11月28日開催予定の第69期定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されることを条件として、第70期より決算期を8月31日から3月31日に変更することを予定しております。従いまして、平成30年3月期は決算期変更の経過期間となることから、通期については当社及び連結子会社は7ヶ月間(平成29年9月1日から平成30年3月31日)を連結対象期間として予想数値を記載しております。このため、対前期増減率については記載していません。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年8月期	8,459,000 株	28年8月期	8,459,000 株
期末自己株式数	29年8月期	株	28年8月期	株
期中平均株式数	29年8月期	8,459,000 株	28年8月期	7,639,327 株

(参考)個別業績の概要

平成29年8月期の個別業績(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期	15,982	1.9	1,362	15.2	1,533	24.5	1,219	55.4
28年8月期	15,682	0.6	1,183	55.7	1,232	58.7	784	82.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期	144.12	
28年8月期	102.68	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年8月期	11,894	8,097	68.1	957.28
28年8月期	10,691	6,952	65.0	821.85

(参考) 自己資本 29年8月期 8,097百万円 28年8月期 6,952百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当社は当事業年度において、特別利益として卵価安定基金の割戻し返還額251百万円を計上したことにより、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

決算短信は監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(追加情報) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和策の継続を背景に景気は穏やかな回復を続けております。しかしながら一方で、英国のEU離脱問題や中国をはじめとする新興国の成長鈍化、加えて米国の政策動向に対する懸念等、景気の先行きは更に不透明な状況となっております。

鶏卵業界におきましては、昨年春頃から鶏卵相場が過去2年間の高卵価と比べ落ち着いた値動きとなってきており、当連結会計年度（平成28年9月1日～平成29年8月31日）におきましては、鶏卵相場の北海道Mサイズ平均は1キロ206円02銭（前年同期比9円81銭安）、東京Mサイズ平均は1キロ207円51銭（同8円30銭安）となりました。一方、飼料価格はトン当たり前年同期比6%程度安となりました。また、特別利益として卵価安定基金の割戻し返還額402,640千円が交付されました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高は15,982,161千円（前年同期比1.9%増）、営業利益は1,519,478千円（同1.5%増）、経常利益は1,691,612千円（同8.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,420,469千円（同45.0%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①鶏卵事業

当セグメントにおきましては、鶏卵相場が過去2年間の高卵価と比べ落ち着いた値動きとなってきましたが、販売重量が前年同期比2%程度増と好調だったことから、売上金額は13,751,786千円（前年同期比2.1%増）となりました。

営業利益は、大雑費の増加、償却負担増はあったものの、飼料価格の低下があり1,919,310千円（同3.5%増）となりました。

#### ②食品事業

当セグメントにおきましては、平成28年夏に北海道を襲った台風被害により道東・上川地方を中心にホテル等の観光事業が影響を受けましたが、新稼働した輪厚液卵工場の温泉卵の売上増もあり売上金額は2,229,732千円（同0.9%増）となりました。

営業利益は、食肉の仕入れ価格上昇で差益確保が厳しく81,555千円（同11.1%減）となりました。

#### ③その他

当セグメントにおきましては、売上金額は642千円（同13.9%減）、営業利益は108千円（同62.8%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,022,612千円増加し14,042,581千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて92,909千円減少し4,652,783千円となりました。これは、主として売掛金の増加により受取手形及び売掛金が139,072千円増加したものの、有形固定資産の取得により現金及び預金が196,995千円減少したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,115,522千円増加し9,389,797千円となりました。これは、主として有形固定資産の取得により建物及び構築物が921,900千円、機械装置及び運搬具が435,184千円増加したこと等によるものです。

なお、当連結会計年度において実施いたしました設備投資の総額は1,998,216千円であります。これらの資金は自己資金及び借入金でまかなっております。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて324,368千円減少し5,709,191千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて317,028千円減少し3,168,607千円となりました。これは、主として買掛金が81,827千円、電子記録債務が47,448千円及びその他が385,134千円減少したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7,340千円減少し2,540,583千円となりました。これは主として借入返済により長期借入金が3,434千円減少したこと等によるものです。

## （純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,346,980千円増加し8,333,390千円となりました。

これは、主として親会社株主に帰属する当期純利益1,420,469千円の計上等により利益剰余金が1,302,043千円増加したこと等によるものです。

## （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて196,995千円減少し2,752,525千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、2,197,747千円（前年同期比12.3%増）の収入となりました。これは主として税金等調整前当期純利益2,054,215千円の計上、減価償却費893,218千円等による資金の増加が、売上債権の増加139,072千円、仕入債務の減少129,276千円及び法人税等の支払額547,102千円等による資金の減少を上回ったことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、2,346,466千円（同35.1%増）の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2,310,102千円等によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、48,276千円の支出（前年同期は520,945千円の収入）となりました。これは主に長期借入れによる収入500,000千円等による資金の増加が、長期借入金の返済による支出403,642千円及び配当金の支払額118,426千円等による資金の減少を下回ったことによるものであります。

## （4）今後の見通し

当社は決算期を毎年8月31日から毎年3月31日に変更予定です。決算期変更の経過期間となる第70期は、平成29年9月1日から平成30年3月31日までの7ヶ月決算となる予定です。

鶏卵部門におきましては、昨年来落ち着いた値動きとなっている相場状況を鑑み、前年同期間比2%程度下振れの鶏卵相場の水準を想定しております。鶏卵販売重量につきましては、株式会社第一ポーターファームでの鶏舎立替えの進捗もあり、前年同期間比3%程度の増加を想定しております。飼料価格につきましては、トン当たり前年同期間比3%程度高を想定しております。

食品部門におきましては、平成29年7月に帯広営業所の加工場を廃止した影響から、売上高は前年同期間比6%程度減の水準を想定しております。

以上の結果、第70期連結売上高は9,114,478千円、営業利益は832,361千円、経常利益は866,249千円、親会社株主に帰属する当期純利益571,561千円を予想しております。

なお、次期の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

## （5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、業績と企業体質の強化を総合的に勘案し、安定した配当を実施することを基本方針としております。また、当社の剰余金の配当は、年1回の期末配当を基本方針としております。

内部留保資金については、企業体質の強化、生産設備・製造設備の強化、将来の事業活動強化を中心とした有効投資に備える予定であります。

上記方針に基づき、当連結会計年度の剰余金の期末配当につきましては、1株当たり15円を株主総会に提案させていただく予定であります。

また、次期配当につきましては、1株当たり年間配当は当期同様15円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当連結会計年度 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,949,521	2,752,525
受取手形及び売掛金	1,299,868	1,438,941
商品及び製品	133,065	126,941
仕掛品	14,966	7,088
原材料及び貯蔵品	111,630	121,265
繰延税金資産	75,919	70,283
その他	162,691	137,933
貸倒引当金	△1,971	△2,194
流動資産合計	4,745,693	4,652,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,604,239	10,766,636
減価償却累計額	△4,891,588	△5,132,085
建物及び構築物（純額）	4,712,651	5,634,551
機械装置及び運搬具	6,576,455	7,026,452
減価償却累計額	△5,383,470	△5,398,282
機械装置及び運搬具（純額）	1,192,985	1,628,170
土地	1,197,891	1,293,413
リース資産	121,356	121,356
減価償却累計額	△4,477	△28,748
リース資産（純額）	116,878	92,607
建設仮勘定	381,795	30,154
その他	186,087	199,109
減価償却累計額	△156,391	△168,946
その他（純額）	29,695	30,162
有形固定資産合計	7,631,898	8,709,059
無形固定資産		
のれん	38,622	23,671
その他	27,572	33,414
無形固定資産合計	66,195	57,086
投資その他の資産		
投資有価証券	408,683	477,711
繰延税金資産	44,986	—
その他	123,700	146,785
貸倒引当金	△1,188	△845
投資その他の資産合計	576,181	623,652
固定資産合計	8,274,275	9,389,797
資産合計	13,019,968	14,042,581

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当連結会計年度 (平成29年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,191,836	1,110,008
電子記録債務	177,187	129,739
短期借入金	130,000	130,000
1年内返済予定の長期借入金	347,082	446,874
未払金	335,495	382,958
未払法人税等	336,641	404,269
賞与引当金	130,000	115,000
役員賞与引当金	36,500	34,000
その他	800,891	415,757
流動負債合計	3,485,635	3,168,607
固定負債		
長期借入金	2,231,942	2,228,508
繰延税金負債	—	6,129
退職給付に係る負債	130,168	146,331
役員退職慰労引当金	75,800	75,700
その他	110,012	83,914
固定負債合計	2,547,923	2,540,583
負債合計	6,033,559	5,709,191
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,055,000	1,055,000
資本剰余金	754,215	754,215
利益剰余金	5,102,587	6,404,631
株主資本合計	6,911,802	8,213,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,607	119,544
その他の包括利益累計額合計	74,607	119,544
純資産合計	6,986,409	8,333,390
負債純資産合計	13,019,968	14,042,581



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
売上高	15,682,337	15,982,161
売上原価	12,097,933	12,286,534
売上総利益	3,584,404	3,695,627
販売費及び一般管理費		
役員報酬	105,455	115,110
給料・雑給及び手当	410,741	434,687
賞与	36,834	45,605
法定福利費	85,374	86,955
賞与引当金繰入額	54,928	48,741
役員賞与引当金繰入額	36,500	34,000
役員退職慰労金	—	3,550
退職給付費用	11,669	12,633
役員退職慰労引当金繰入額	8,800	7,400
運賃諸掛	693,059	750,424
広告宣伝費	92,780	86,199
支払手数料	81,331	76,265
貸倒引当金繰入額	1,829	1,387
減価償却費	70,951	86,710
のれん償却額	14,950	14,950
卵価安定基金支払	164,002	127,425
卵価安定基金収入	△83,671	△79,855
その他	301,895	323,957
販売費及び一般管理費合計	2,087,431	2,176,148
営業利益	1,496,972	1,519,478
営業外収益		
受取利息	302	25
受取配当金	7,607	8,631
仕入割引	20,794	18,903
受取賃貸料	44,358	41,533
受取保険金	4,422	67,778
保険解約返戻金	—	36,813
物品売却益	14,562	16,171
その他	10,116	8,538
営業外収益合計	102,164	198,395
営業外費用		
支払利息	13,478	8,217
賃貸費用	18,109	16,951
株式交付費	12,169	—
その他	2,401	1,093
営業外費用合計	46,159	26,262
経常利益	1,552,976	1,691,612

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
特別利益		
固定資産売却益	—	1,672
投資有価証券売却益	250	—
卵価安定基金返還額	—	402,640
特別利益合計	250	404,313
特別損失		
固定資産除却損	90,875	41,522
その他	—	188
特別損失合計	90,875	41,710
税金等調整前当期純利益	1,462,351	2,054,215
法人税、住民税及び事業税	472,675	596,629
法人税等調整額	10,242	37,115
法人税等合計	482,918	633,745
当期純利益	979,432	1,420,469
親会社株主に帰属する当期純利益	979,432	1,420,469

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
当期純利益	979,432	1,420,469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,174	44,936
その他の包括利益合計	△32,174	44,936
包括利益	947,258	1,465,406
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	947,258	1,465,406

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	647,532	346,782	4,212,662	5,206,977
当期変動額				
新株の発行	407,467	407,432		814,900
剰余金の配当			△89,508	△89,508
親会社株主に帰属する当期純利益			979,432	979,432
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	407,467	407,432	889,924	1,704,824
当期末残高	1,055,000	754,215	5,102,587	6,911,802

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	106,781	106,781	5,313,759
当期変動額			
新株の発行			814,900
剰余金の配当			△89,508
親会社株主に帰属する当期純利益			979,432
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△32,174	△32,174	△32,174
当期変動額合計	△32,174	△32,174	1,672,650
当期末残高	74,607	74,607	6,986,409

当連結会計年度（自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	1,055,000	754,215	5,102,587	6,911,802
当期変動額				
新株の発行				
剰余金の配当			△118,426	△118,426
親会社株主に帰属する当期純利益			1,420,469	1,420,469
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	—	—	1,302,043	1,302,043
当期末残高	1,055,000	754,215	6,404,631	8,213,846

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	74,607	74,607	6,986,409
当期変動額			
新株の発行			
剰余金の配当			△118,426
親会社株主に帰属する当期純利益			1,420,469
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	44,936	44,936	44,936
当期変動額合計	44,936	44,936	1,346,980
当期末残高	119,544	119,544	8,333,390

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,462,351	2,054,215
減価償却費	774,763	893,218
のれん償却額	14,950	14,950
株式交付費	12,169	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,372	16,162
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,800	△100
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,000	△15,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	1,500	△2,500
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,508	△119
受取利息及び受取配当金	△7,909	△8,656
支払利息	13,478	8,217
投資有価証券売却損益(△は益)	△250	—
固定資産売却損益(△は益)	—	△1,672
固定資産除却損	90,875	41,522
売上債権の増減額(△は増加)	77,673	△139,072
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,256	4,368
仕入債務の増減額(△は減少)	△121,417	△129,276
その他	△74,776	8,252
小計	2,274,816	2,744,509
利息及び配当金の受取額	7,909	8,656
利息の支払額	△13,528	△8,315
法人税等の支払額	△312,952	△547,102
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,956,246	2,197,747
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	135,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,800,002	△2,310,102
有形固定資産の売却による収入	—	2,983
無形固定資産の取得による支出	△7,090	△13,118
投資有価証券の取得による支出	△4,293	△4,454
投資有価証券の売却による収入	700	—
その他	△61,305	△21,774
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,736,991	△2,346,466
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△505,000	—
長期借入れによる収入	1,000,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△674,623	△403,642
株式の発行による収入	814,900	—
リース債務の返済による支出	△12,653	△26,208
配当金の支払額	△89,508	△118,426
株式交付費の支出	△12,169	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	520,945	△48,276
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	740,200	△196,995
現金及び現金同等物の期首残高	2,209,320	2,949,521
現金及び現金同等物の期末残高	2,949,521	2,752,525

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当連結会計年度から適用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「鶏卵事業」と「食品事業」の2つの事業を柱として事業活動を展開しており、「鶏卵事業」と「食品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「鶏卵事業」は、スーパーなどで取扱う家庭用のほか、ホテル、レストラン、パン・ケーキなど業務用としての鶏卵を生産・販売しております。「食品事業」は、主に豚肉・鶏肉等の畜肉を道内のホテル、飲食店に販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵事業	食品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,470,815	2,210,775	15,681,590	746	15,682,337
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,470,815	2,210,775	15,681,590	746	15,682,337
セグメント利益	1,854,811	91,777	1,946,588	66	1,946,654
セグメント資産	8,875,042	698,205	9,573,247	—	9,573,247
その他の項目					
減価償却費	702,109	31,348	733,458	—	733,458
のれん償却額	14,950	—	14,950	—	14,950
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	1,935,186	16,883	1,952,069	—	1,952,069

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料及び包装資材の販売事業を含んでおります。

当連結会計年度（自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵事業	食品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,751,786	2,229,732	15,981,519	642	15,982,161
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,751,786	2,229,732	15,981,519	642	15,982,161
セグメント利益	1,919,310	81,555	2,000,865	108	2,000,973
セグメント資産	9,984,935	722,830	10,707,766	—	10,707,766
その他の項目					
減価償却費	802,471	36,244	838,716	—	838,716
のれん償却額	14,950	—	14,950	—	14,950
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	1,937,758	43,444	1,981,202	—	1,981,202

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料及び包装資材の販売事業を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	15,681,590	15,981,519
「その他」の区分の売上高	746	642
連結財務諸表の売上高	15,682,337	15,982,161

（単位：千円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,946,588	2,000,865
「その他」の区分の利益	66	108
全社費用（注）	△449,682	△481,494
連結財務諸表の営業利益	1,496,972	1,519,478

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（単位：千円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	9,573,247	10,707,766
全社資産（注）	3,446,721	3,334,815
連結財務諸表の資産合計	13,019,968	14,042,581

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金及び預金）等であります。



(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	733,458	838,716	—	—	41,304	54,502	774,763	893,218
のれん償却額	14,950	14,950	—	—	—	—	14,950	14,950
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,952,069	1,981,202	—	—	137,281	17,013	2,089,351	1,998,216

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に本社管理による電算機器の設備投資額であります。

## 【関連情報】

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	鶏卵事業	食品事業	計			
当期末残高	38,622	—	38,622	—	—	38,622

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	鶏卵事業	食品事業	計			
当期末残高	23,671	—	23,671	—	—	23,671

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## （1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日）	当連結会計年度 （自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日）
1株当たり純資産額	825.91円	985.15円
1株当たり当期純利益金額	128.21円	167.92円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日）	当連結会計年度 （自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日）
親会社株主に帰属する当期純利益金額 （千円）	979,432	1,420,469
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額（千円）	979,432	1,420,469
普通株式の期中平均株式数（株）	7,639,327	8,459,000

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （平成28年8月31日）	当連結会計年度 （平成29年8月31日）
純資産の部の合計額（千円）	6,986,409	8,333,390
純資産の部の合計額から控除する金額 （千円）	—	—
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	6,986,409	8,333,390
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末 の普通株式の数（株）	8,459,000	8,459,000

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。